

令和7年度 南学校教職員 働き方改革アクションプラン

～生徒・教職員のQOLを高めるために～

南学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:10人(R6年度:23人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロにする。」

・R7年度目標:0人、(R6年度:10人)

【定性的現状】

○ 教職員の意識

- ・当校で推進する部活動休養日の取組が全教職員に徹底されている。
- ・時間外勤務している教職員が多い。

○ 管理職のマネジメント

- ・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR6年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方の仕事と生活の質の向上を目指します。

<目指す姿>

- ・生徒への質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・管理職が日頃から、教職員と対話を行っている。
- ・教職員が、リフレッシュできる上質な家庭生活の時間を十分に確保できている。
- ・教職員がいきいきとやりがいをもって、生徒に向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの「QOLを高めるためのゆとりある職場づくり」の取組を実施し、教職員の健康を確保します。
- ・必用な年次休暇が気兼ねなく取得できるよう声がけし、互いに仕事をやりくりしあえるような雰囲気醸成していきます。
- ・管理職が、必要に応じて、医療機関での受診や検診を行えるよう、積極的に声掛けをします。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が40時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、声がけをします。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業の活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・業務改善について具体的なアイデアを募るため、積極的にアンケート等を実施します。
- ・業務のデジタル化を推進することにより、業務の効率化を進めます。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・学校行事について、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務を見直します。
- ・保護者等への通知文書については紙での配付を廃止し、メールでの配付・周知を行います。
- ・会議の進め方についてペーパーレスにより合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・地域の力を借りて効率的な教育活動ができるよう、学校運営協議会の活用を推進します。
- ・外部からの作品応募等の依頼については、全てを無条件に受け入れず、精選して対応します。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう広報をします。
- ・まずは休日、最終的には平日の部活動について、教育委員会等のご指導を仰ぎながら、地域移行を推進します。まずは平日の時間外活動を完全に父母会・スポ少等に委ねることを目指します。

令和7年4月24日 南中学校長 加藤 建一

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%